

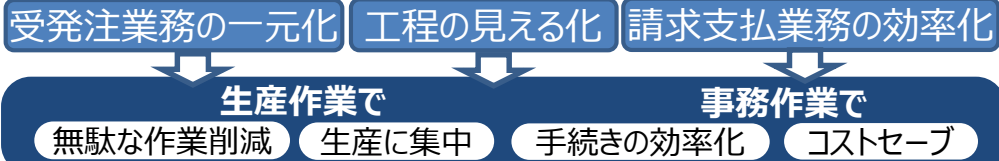
地域ぐるみで取組む山中漆器産地での「伝統工芸の挑戦」

【課題】

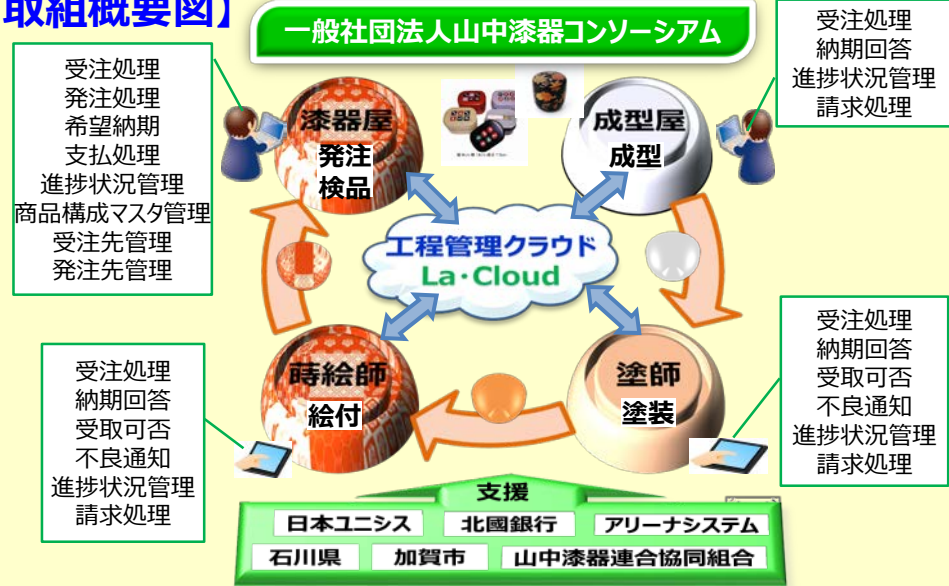
- 職人の高齢化・後継者不足による生産力の低下
- 従来からの商慣習による受発注・請求支払・進捗確認などの手続きがアナログな運用（紙・電話・FAX・訪問）のため非効率
- 製造工程が分業制となっていて、各工程の進捗が分かりにくい

【対策】

- 有志による勉強会から着手し、産地全体（地域）の課題と認識
- 地域金融機関が産地の取り纏め役となり、自治体・組合と連携
- 高齢者の多い職人の理解を得ながら、デジタル化を推進



【取組概要図】



従来からの商習慣のデジタル化により、サプライチェーンの効率化を実現!!

◎ 漆器屋1社あたり月平均 約75時間削減

対象者	業務内容	削減率
漆器屋	支払い事務作業時間	30%
	発注事務作業時間	30%
	不良率	2%(3→1)
素地屋	請求事務作業	30%
	受注作業	10%
	在庫圧縮率	5%
塗師屋	請求事務作業	50%
	不良率	2%(3→1)
	蒔絵屋	請求事務作業
	不良率	2%(3→1)

定量的効果

- ◎ イノベーションの始まり
- 産地の一体化意識の醸成
 - 協働・シェアリングの始まり
 - 新たなことを考える時間の確保
 - 本業注力による安定的な供給
 - 総務省事業活用による知名度向上と参加企業の士気の向上

副次的効果

- ◎ 山中漆器産地
- 販路拡大
 - ブランディング
 - 共同物流
 - 海外展開 などを検討予定
- ◎ 他地域
- 他地域・他産業への展開

今後の展開